

令和2年国勢調査有識者会議（第7回） 議事要旨 【未定稿】

1 日 時 令和2年7月20日（月）13：30～15：30

2 場 所 総務省第二庁舎6階特別会議室

3 出席者

構成員：堀部政男座長，太田真嗣委員，岡田豊委員，加藤久和委員，玄田有史委員，菅幹雄委員，津谷典子委員，萩原雅之委員，廣松毅委員

総務省：佐伯統計局長，井上統計調査部長，佐藤調査企画課長，阿向国勢統計課長，羽鳥国勢統計課環境整備企画官，永井国勢統計課調査官ほか

4 議 題

- (1) 議員連盟からの提言について
- (2) 令和2年国勢調査の新型コロナウイルス感染症対策について
- (3) 令和2年国勢調査の広報について
- (4) その他

5 配布資料

資料1 議員連盟提言要旨及びその対応について

（参考）国勢調査100年の提言ー コロナを乗り越え、切り拓く新たな100年 ー

資料2 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた令和2年国勢調査の対応方針

（参考）新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた対応方針（令和2年7月7日付）

資料3 令和2年国勢調査 新型コロナウイルス感染症に関する対応に伴う変更について

資料4 令和2年国勢調査の広報について

6 議事要旨

- 事務局から資料に基づき、議事について説明を行った。説明を受け、順次意見交換が行われた。

【主な質疑応答】

（議題2 令和2年国勢調査の新型コロナウイルス感染症対策について）

○従来からインターネット回答の推進が重要だと訴えてきたが、今般の新型コロナウイルス感染防止の観点から、インターネット回答の重要性は大きくなる。インターネット回答の増加は統計品質の維持・向上にも繋がってくる。

○要計表の作成について、男女別の世帯員数を調査票から『調査世帯一覧』に転記又は調査票と『調査世帯一覧』の記入内容の整合を確認した上で作成する方法に変更することに伴い、速報と確報の乖離が小さくなることが期待される。次回以降も今回の方法を継続し、調査票の内容を集計して、できる限り速報を迅速かつ正確に公表することにした方が良い。

○調査期間を延長している状況において、事後調査の実施が難しいという事情は承知しているが、次回の調査に向けて、今回の調査実績について検証してほしい。また、新型コロナウイルス感染症が統計調査に与えた影響の一例として、積極的に情報提供してほしい。

⇒非接触の調査方法は、次回調査でもベースとなる可能性があるため、何らかの形で事後的に検証していきたい。

○新型コロナウイルス感染症の状況下において、調査員は様々なトラブルに遭遇すると思われる。調査員を守るためにも、細かく丁寧な指導をお願いしたい。

○新型コロナウイルス感染症の影響で在日外国人が非常に少なくなっている。そのため、将来的に何らかの形で、外国人の動きを把握することも必要ではないか。

⇒外国人人口の把握は新型コロナウイルス感染症の状況を問わず重要だと認識しており、しっかりやっていきたい。

○調査書類の配布期間の延長及び回収期間の延長は、調査員一人当たりの担当調査区が増えることに対する措置なのか。調査員が十分に確保できている自治体などでは、当初の日程で調査を行うのか。

⇒そのとおり。予定より少ない人数で調査を実施する場合に備えて、配布期間又は回収期間の延長を行うこととしており、これにより稼働力を上げている。なお、回収期間については、延長すると調査員の拘束期間が長くなることもあり、延長を希望する自治体はそれほど多くない。

（議題3 令和2年国勢調査の広報について）

○外国人向けのメッセージとして、「警察の捜査には使われない」という文言は効果的だと思う。

また、TwitterやInstagramが流行っていない地域の外国人に対しては別のSNSを利用することが効果的だと思うが、何か予定はあるか。

⇒現時点で予定はない。

○総合サイトへのアクセス数等、特にインターネット広告についてはしっかりと効果検証を行ってほしい。

○新型コロナウイルス感染症の状況だからこそインターネット回答をお願いしたい、という部分を強調してほしい。新型コロナウイルス感染症への対応について、HP掲載等で前面に出すのもよい。また、なぜ新型コロナウイルス感染症の下でも国勢調査を行う必要があるのかについて、十分な説明をするべきである。

○統計の日の標語が「統計調査 1人1人の協力ありがとう」に決まった。回収期間後に広報する際は、こちらについても合わせて広報してもらいたい。

以 上

<文責：事務局（今後、修正することがあり得ます。）>